

第6学年 社会科学学習指導案

1 小単元名

「5. 今に伝わる室町文化」

2 小単元の目標

- ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、文化財や地図、年表などの資料で調べ、今日的生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。(知識・技能)
- ・人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画や、この頃の文化の特色を考え、表現している。(思考力・判断力・表現力)
- ・主体的に学習問題を追究・解決し、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。(学びに向かう人間性)

3 単元構想の意図

本学級は第6学年で男子18人、女子13人、計31人(特支学級の交流男子児童1名を含む)の学級である。学力の個人差は大きいですが、学習課題に意欲的に取り組むことのできる児童が多い。習熟したことはこなせるものの、主体的に課題に発見したり、解決に導くよう話し合ったり、調べたりすることがやや苦手で、自己表現力に課題が残る。事前のアンケートでは、「歴史に興味がある」90%、「歴史は自分の人生の役に立つ」53%、「中学校での社会科学学習に不安を感じている」93%であり、歴史学習に魅力は感じているものの、その必要性や有用性を感じることができず、中学校での学習への不安を抱えていると言える。また、歴史学習に興味はあるが、身近にあるものが歴史に関わっているという思いは持たず、畳や和室、ふすま等が室町時代に生まれた文化と大きく関わっていることはまだ分からない。

本単元では、室町時代について、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、この頃の文化の特色を考えたり、表現したりすることを通して、室町時代の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日的生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにする。そのことを通して、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養うことを主たる目的としている。

室町時代に発生した文化は建築様式、芸術、大衆文化、芸能と現在に今なお強く残っているものが多く、児童にとっても目にしてきた物が多い。水墨画や生け花など他教科や行事で体験できるものも多く、歴史を肌で感じやすいのが大きな特徴である。また「二本松」という名前も室町時代ゆかりの名称であることから、歴史を遠い昔のストーリーではなく、自分たちの生活を支えるルーツになっていることをとらえやすい。本単元においては、そういった身近にあるものに触れたり体験したりする活動を通して、室町時代の文化や人物、そこに込められた想いを理解し、歴史は自分の生活の一部であるということを感じさせ、歴史に対する興味関心を高めていきたい。歴史は決して「学習する」「おぼえる」という行為だけでないことを感じることによって、歴史を学ぶことの意義や、中学校においてより詳細に学習することへの不安を払拭させ、小中学校の社会科学教育の連結としていきたい。

4 単元の計画(総時数4時間)

時	場面	学習活動(夢中に学んでいる姿)	資質・能力
1	見通す	銀閣の様子を見たり、金閣と比べたりしながら話し合い、学習問題をつくる。架空の動画チャンネルで身近な歴史について紹介する動画を作成する。	京都の室町に幕府がおかれた頃の代表的な建造物や絵画などに着目して課題を見出すことができる。(思考・判断・表現力)
2	習得する 考える 対話する	水墨画、茶の湯、生け花(別時)の体験を通して、室町時代に生まれた文化が自分たちの生活のルーツになっていることを調べ、動画で紹介する。	必要な情報を集め、読み取り、水墨画や茶の湯などの室町時代の文化の特色について理解することができる。(知識・技能)
3	習得する 考える 対話する	能・狂言・田楽などの芸能文化の鑑賞を通して、その芸能の意味に込められた想いを理解し、現在の生活との関わりを捉え、動画で紹介する。	必要な情報を集め、読み取り、能や狂言などの室町時代の文化の特色について理解することができる。(知識・技能)
4	対話する 振り返る 本時	学習問題について調べてきたことを整理し、室町時代の文化と現在の自分たちの文化を比較し、歴史が今の生活に大きく関わっていることを動画で紹介する活動を行う。	学習したことをもとに、室町時代に生まれた文化や習慣と今日の自分たちの生活との関わりを考える。(主体的に学習に取り組む態度)

単元を通して育てたい子どもの姿

身近にある「もの・こと」を見つめ、そこにある歴史的背景を捉えさせ、歴史をストーリーからルーツに転換させることによって、歴史をより身近に感じ、歴史を学ぶことの意義をより深く捉えられる。

5 本時のねらい

学習したことをもとに、室町時代に生まれた文化と自分たちの生活との関わりを考え、**主体的に**表現する。

6 学習過程

	学習活動・内容 (T: 主な発問・C: 児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ◎研究主題に迫る手立て ◇評価
つかむ	<p>1 本時の学習課題を捉える。</p> <p>(1) 既習事項をふり返る (知識の定着)</p> <p>(2) 銀閣寺の書院造りの写真と学校の和室の写真の共通点を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">東和小学校に残る室町文化をヒストリーチャンネルで伝えよう</div> <p>(3) 本時の活動内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の和室が室町文化から継承されるものということ伝える原稿を作成する。 リポーターとして動画に収め、発表する。 		<p>○ タブレット端末と学習支援アプリを使用し一問一答形式の問題を配付する。</p> <p>○ 比較しやすい資料を提示し、児童が書院造りと現代の和室の共通点を出しやすいようにする。</p> <p>◎ 室町以前の建築様式 (生活様式) と書院造りが大きく異なっていることや、和室に関わる既習事項 (畳、茶の湯、生け花) にも触れ (掲示し)、本時の課題の焦点化を図り、児童が題材を選んで主体的に原稿作成や動画作成ができるようにする。</p>
調べ	<p>2 紹介する内容を考え、動画を撮影する。</p> <p>(1) 和室のどこをレポートするか、どんな原稿にするのか検討する。(原稿作成)</p> <p>(2) 動画撮影をする。(タブレット端末使用)</p> <p>※ 個人 or ペア</p> <p>(3) 学習支援アプリに貼り付ける。</p> <p>3 児童同士で動画を視聴し合い、室町文化と現代生活のつながりについて考えを深める。</p> <p>(1) 互いに動画を視聴し、感想を話す。</p> <p>(2) 室町文化が今に伝わっていること、自分たちの生活に関わっていることについて話し合う。</p> <p>T: どのような室町文化が身近にありましたか。</p> <p>C: 和室にたたみがしきつめてありました。あたりまえのことですが、室町時代から続く文化だと初めて知りました。</p> <p>C: 和室のふすまをレポートしました。学校には水墨画が描かれていなかったけど、私の家のふすまには水墨画が描かれています。</p> <p>T: 今の私たちの生活は歴史の上に成り立っているんですね。</p> <p>C: 学校の和室にも自分の家の和室にも床の間があります。違い棚もあり、書院造りが今に残っていることが分かりました。</p> <p>C: この前、体験した生け花も室町時代から残る文化でした。</p> <p>C: 室町時代の文化は今の「日本らしさ」の基であると分かりました。</p>	25	<p>○ 原稿の長さは30秒程度のレポートになるよう留意させる。</p> <p>○ 動画撮影に役立ちそうな資料(写真やフリップ)を準備する。</p> <p>○ 原稿をまとめられない児童に対し、資料の選定や文章の書き方等を支援する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">◎ 児童の作成状況を教師が見取り、同じ題材を選択した児童同士で原稿を見合ったり、確認したり、撮影したりできるよう、教師が作成途中の原稿や動画を学習用タブレットで提示して、働きかける。</div> <p>○ 学習支援アプリの操作を指示する。</p> <p>◇ 学習したことを生かしながら、室町文化が現代に息づいていること理解し、表現しようとしているか。(学習態度、原稿、動画)</p> <p>○ 他者との共通点や違いについて気付いたことを発表させる。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">○ 室町文化が現代の生活のルーツになっていること、歴史が遠い昔のストーリーではなく、今の自分につながっていることを引き出させ、歴史を学ぶ本質や有用感、必要性を感じられる話し合いになるようコーディネートする。また、知識を得ただけでなく、自分のものにして表現したことも称賛し、歴史を学ぶ楽しさにも触れる。</div>
まとめ	<p>4 本時をふり返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 学校(身近な生活)にも室町文化が残っていた。 歴史はすぐそばにあって、私たちの生活に根付いている </div>	10	<p>○ ワークシートに、リポーターとしての活動のふり返りや授業の感想を書かせる。</p> <p>◇ 歴史を学ぶ意義を捉え、自分の知識を生かして、意欲的に伝えようとしているか。</p> <p style="text-align: right;">(原稿・ワークシート)</p>

7 板書計画

